

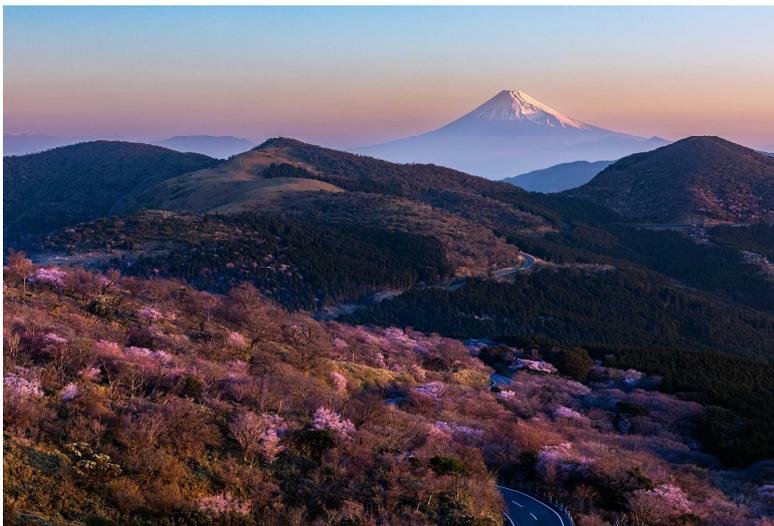
令和5年度静岡県さくら写真コンクール入賞作品選評

「総評」

今年の応募作品は、

「桜の風景」部門	392点	(前年度 655点)
「富士山と桜」部門	221点	(前年度 292点)
合計	613点	(前年度 947点)
(うち、U-25賞対象)	(46点)	(前年度 83点)

去る5月29日に3名の審査員により審査が行われました。今年で新型コロナウイルス感染症の影響も4年近く続いておりますが、やっと減少傾向となり諸々の規制も解除され旅行等の外出もできるようになったことから、応募作品の増加を期待していたところでしたが、意外にも前年度に比べ65%の応募点数にとどまった結果になりました。年々桜の花の開花時期が早まってきて撮影計画を立てにくいとか、コロナ規制がなくなり経済活動が活発になり、仕事が忙しくなった等の原因が考えられますがはっきりした原因は分かりません。作品の内容につきましては、応募点数の減少はあったものの、上位入賞の作品は例年同様レベルの高い作品が多く、順位決定には悩む場面がありました。ただし、桜や富士山の撮影では、良い撮影ポイントが決まっており毎回同じ場所で撮影した作品が応募されてきます。過去に上位入賞した作品に似た作品の入賞は難しくなりますので、今までにない独創性のある作品が応募されることを希望いたします。又、毎回申し上げておりますが、自家処理のプリントだと思われそうですが、プリント時の色の調整で手を入れすぎて、派手な色調にするあまり自然の色を壊している作品などが多く目立ちますので、自分の作品は撮影から最終段階であるプリントまで丁寧に仕上げてください。

	最優秀賞	
	部門	部門共通
	作品名	朝陽
	撮影地	西伊豆町 仁科峠
	撮影者	飯田 龍治 (御殿場市)
	<選評> この作品は西伊豆町の仁科峠での撮影とのこと。小高い場所から前面に山桜の咲く林を入れ、遠景に朝靄の中に佇む富士山を入れています。朝日により全体が赤く染まり、連なる山容の魅力が表現されています。安定感と美しい品格のある風景作品だと思います。画面の構成力、撮影技術なども素晴らしく、秀逸な作品になっています。	

「桜の風景」部門



特 選

作品名	湖畔の朝
撮影地	御殿場市 東山湖
撮影者	上野 祐司 (神奈川県 足柄下郡箱根町)

<選評>

この作品は御殿場市の東山湖の湖畔で撮影されています。

朝もやの立つ湖面を逆光で捉えることにより、桜の花と朝もや、水面を美しく表現しています。黒い木の幹と一羽のサギが完璧に配置されており力強い作品で作者の力量を感じさせてくれます。



準特選

作品名 夕桜に見守られ

撮影地 菊川市
せんがまちの棚田

撮影者 手塚 光次
(掛川市)

<選評>

高台から棚田を見下ろしています。前面左右と上部に満開の桜の花を配しており、今まさに太陽が向いの山に沈まんとしている時間帯です。

夕焼けに染まった雲と桜の花、田植え前の水を張った棚田がとても美しい風景写真になっています。



準特選

作品名 花ジュウタン

撮影地 静岡市葵区
駿府城公園

撮影者 水谷 潔
(静岡市葵区)

<選評>

駿府城公園のお堀の中を観光用の和船がゆっくりと回っている風景です。水面には散り始めた桜の花びらが一面に敷き詰められていて、船の通ったところだけ水が見えており静かな風景に動きを感じさせてくれています。

前面の桜の花もボリューム感たっぷりで安定感のある画面になっています。

「富士山と桜」部門



特 選

作品名

夜明け前の彩
(よあけまえのあや)

撮影地

沼津市井田

撮影者

山口 勉
(三島市)

<選評>

沼津市井田からの富士山です。

夜明け前の柔らかな光の中で撮影された富士山と駿河湾の海、前面に咲き誇るさくらで構成しています。

画面構成や富士山の雪の質感も美しく、桜の花の量感も力強く描写されています。



準特選

作品名 朝陽に彩る

撮影地 伊豆市 達磨山

撮影者 筒井 章
(伊東市)

<選評>

朝日に輝く富士山と駿河湾、前面に桜の花を大きく入れています。桜の花の種類は分かりませんが、花のボリューム感から力強い作品になっており、温かい春の雰囲気も表現されています。



準特選

作品名 山里の春

撮影地 富士宮市半野

撮影者 望月 正晴
(静岡市清水区)

<選評>

桜の木を前景として、富士山を中央に配置しています。

変化のある雲を大きく入れているためスケールの大きい作品になっています。

	U-25 賞	
	作品名	夜櫻と月
	撮影地	静岡市駿河区登呂
	撮影者	西岡 常 (静岡市駿河区)
<p><選評> ライトアップされた桜の花を下から見上げており、真ん中に月を入れています。 花のピンクと空のブルーが美しく、朧げな月も春の宵の雰 囲気を醸し出しています。</p>		

他に両部門から 10 点の入選作品が決定いたしました。

全体を通じて良い作品を何点も出されていた方が数人おられましたが、一人一賞の決まりから一点のみの入賞となっております。

今回入賞を逃した方も次回の挑戦を期待いたします。

入 選 (「桜の風景」部門)



作品名

夕照

作品名

桜の樹の下で

撮影地

浜松市西区
はままつフラワーパーク

撮影地

藤枝市堀之内

撮影者

稲垣 成憲

撮影者

長谷川 久雄



作品名

桜の回廊

作品名

振り返る子

撮影地

富士宮市上条 大石寺

撮影地

浜松市天竜区船明
(船明ダムの桜トンネル)

撮影者

山本 武正

撮影者

小松原 清

入 選（「桜の風景」部門）



作品名	桜舞う
撮影地	沼津市 門池公園
撮影者	鈴木 武幸

入 選（「富士山と桜」部門）



作品名	花見富士
撮影地	富士宮市 大石寺
撮影者	加藤 昇



作品名	黎明
撮影地	富士宮市 富士桜自然墓地公園
撮影者	菅沼 英已

入 選 （「富士山と桜」部門）



作品名 暁光に映えて

撮影地 沼津市井田

撮影者 細井 健司

作品名 残照・静寂

撮影地 富士市 潤井川龍巖淵

撮影者 平井 敏夫



作品名 夜明けのシルエット

撮影地 富士宮市 田貫湖

撮影者 園田 千鶴

コンクールの審査は、A4 及び四つ切写真での審査を行っております。

本書に掲載している写真は、応募作品のデータですので、応募作品とは、色調等の相違がありますので、ご了承ください。